**日本低俗論？　2015/09/17**

日本は低俗だ！

互恵平等主義を法理に、日本側が恐る恐るお伺いすると、

韓国が、こう反論し、吠え返す。

商社マン、韓国での大学教授、外務官僚、

新聞記者（か勤務者）の元現役連と現役女性作家等々も混じり、

酸い辛い味をなめ尽くした面々が集う、ランチ会合で話題に。

吠えられているのは、日本の大衆文化としての、

歌曲とＴＶバラエティ番組のこと。

低俗を理由に、輸入禁止、放映禁止をしている韓国。

この不公平な障壁を除こうと、片山さつき議員が頑張るが、

与野党の足の引っ張り合いで一丸となれない。

それを見抜いた先方は、ご親切にも、

「低俗番組国の日本人に、芸術の真髄を教えてあげる」のが、

韓流ドラマを携えた、現代版「朝鮮通信使」ご一行の波状攻勢。

値段は日本国のＴＶ側の言い値でタダ同然の魅力アイテム。

編成者には、酒・色・カネの現物給付のおもてなし攻勢。

こちらは飛びつき、飛びつかれる方もそれなりに気を使う。

黄門様番組なら、「鳴物屋、お主も悪よのう」と。

これほどコケにされても、声を上げないのが、

当事者である日本のメディア。

低俗性を自他ともに認めていて、

議論するには手強い相手との判断で、

先ずは、ダンマリを決め込む。日の本は、案の定、狡い。

だが、「日本のＴＶ番組は低俗番組だ！」と、

与党の若手が発言しようものなら、

誌・紙界も視界も束になって攻撃（口撃）を開始する。

気の毒なのは総理で、貴重な国会会期時間、

毎日、暇を持て余す野党連中の、中継カメラ意識で、

**「真意」**を質されて糾弾され、放映される。

彼等が玉条とする厳粛なる憲法で保障された人権は、

総理には適用除外で、その人権は無視・蹂躙され

完全に画面と紙面一杯に拡大される。

奸智に長けた、議員追求者とメディアには、これも商売ネタ。

小生、ＴＶとは距離を置いて久しい。

だが、この話題も気にかかり、リモコンをカチカチ。

成程、なるほど、ナルホド！　ひどい内容の番組。

大宅壮一が予言した「一億総白痴化」が的中。

戦後７０年の総理談話に、「我が国の低俗性」を

盛り込めば韓国も大歓迎だった。

そう。韓国の言うことは正しい！

明らかに「ウソ八百」の経験を笑い取りで語り、

他者より大声と、「エーッ！」連発のおおげさな驚きノイズで、

カメラ焦点を引付け、若いが、なかなかの知恵者揃い。

たけしやサンマの老弄タレントの、

オヤジギャグ」につき合わされ、

若き連中も連れ笑いの付き合いで苦労し、

やがて、この程度の対策で、世渡りができると認識する。

さて、当事者国の間では、

この種の問題では、契約でも外交でも「相互主義」が基本。

この基本ルールを無視するのが、この厄介な隣人。

この間、スタジオはコウコウと電照され、

惜しげもなく、多大の電力浪費が確実に進行する。

ＴＶ会社だけには、特別の電気料の割引制度があり、

民放とは言え、我々の個々の負担で運営されている。

電気を消費しながら、「原発反対」を唱えるゲストもいる。

他方、韓国人も、日本の衛星放送をタダで視ており、

「昼は反日、夜は好日」の切り換えで忙しく、

その性根がまた彼等には癪に障るらしい。

この連中の受信料も我々のさらなる負担。

**無知と無恥　人間様なら　痴呆症**詠み人知らず